



2019年5月14日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 平尾 丈
(コード番号: 3679 東証第1部)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 寺田 修輔
(TEL. 03-6432-0352)

個別業績(日本基準)の前期実績との差異に関するお知らせ

当2019年3月期の個別業績(日本基準)が、前期の実績値との対比においてその差異が開示基準に達することとなりましたので、お知らせいたします。当社は当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前期の実績値との比較となっております。

記

1. 2019年3月期(通期)個別業績(2018年4月1日~2019年3月31日)と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2018年3月期)	百万円 3,822	百万円 783	百万円 773	百万円 522	円 銭 4.74
当期実績(B) (2019年3月期)	4,872	1,108	1,862	1,521	13.65
前期比増減額(B-A)	1,050	325	1,088	999	—
前期比増減率(B/A-1)	27.5%	41.5%	140.7%	191.3%	—

(注) 当社は2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異が生じた理由

当社個別の事業は主に、アルバイトEX、看護師求人EX、dジョブ(NTTドコモ提供)、転職EX等の求人に関連するアグリゲーションメディアを運営する『人材領域』、賃貸スモッカ、ミノリノ等の不動産に関連するアグリゲーションメディア、特化型メディアを運営する『不動産領域』、並びに中古車EX等の生活に関連するアグリゲーションメディアを運営する『生活領域』から構成されておりますが、各サービスの伸張により、売上高や営業利益は大幅に増加しました。

また、メディアプラットフォームとして複層化する連結グループの財務マネジメント最適化の一環として、連結子会社からの剰余金配当を実施したことから、じげんにおいて受取配当金が営業外収益として発生し、経常利益や当期純利益の増加幅が営業利益の増加幅を上回りました。なお、当該配当は連結子会社との取引につき、連結業績に与える影響はございません。

以上